



Press release

2022年11月11日

アクサ・ホールディングス・ジャパン 傘下の3社がLGBTQ+に関する取組みで 「PRIDE指標」最高位の「ゴールド」を同時受賞

アクサ・ホールディングス・ジャパン株式会社(本社：東京都港区、代表取締役社長兼 CEO：安淵 聖司、以下「アクサ」)傘下のアクサ生命保険、アクサ損害保険(以下、「アクサダイレクト」)、アクサダイレクト生命保険の3社は、2022年11月10日、LGBTQ+などのセクシュアル・マイノリティ(以下、「LGBTQ+」)への取組みの評価指標「PRIDE指標」^{*1}において、最高位の「ゴールド」を同時受賞しました。アクサ生命の「ゴールド」受賞は3年連続、アクサダイレクトの「ゴールド」受賞は5年連続となります。

3社のLGBTQ+当事者が働きやすい職場づくりを目的とした人事制度、社員によるERG(Employee Resource Group^{*2})を中心としたLGBTQ+への理解を深めるボトムアップでの活動などが評価され、受賞に至りました。

work with Pride



アクサは、従業員一人ひとりの能力や個性を尊重することが企業として成長するための原動力であると捉え、インクルージョン&ダイバーシティの取組みを推進しています。全世界のアクサグループ共通の「インクルージョン&ダイバーシティポリシー」を設定し、インクルーシブな文化を醸成するために互いのアライ(理解者)になることを推奨し、すべての従業員がそれぞれ役割を果たす必要があると定めています。また、「人権に関する基本方針」においては、現在・将来の従業員に対して、年齢、人種、国籍、出身、性別、性的指向、宗教、婚姻の有無、身体的および精神的障害に基づくいかなる差別も禁止し、お客さまに対して同様の差別をしないことを従業員に求め、研修や啓発活動を実施しています。



■LGBTQ+当事者が働きやすい職場づくりを目指した人事制度

LGBTQ+当事者が働きやすい職場づくりを目指し、就業規則上の結婚の定義に同性パートナーシップも含め、育児休業や慶弔休暇などを取得できる制度を導入しています。通称での勤務を可能にし、採用応募フォームの性別記載を任意にするなど^{※3}、性別や性的指向、性自認に関わらず、従業員が自分らしく活躍できる職場を目指しています。

■ERG(Employee Resource Group)を中心とした LGBTQ+への理解を深める活動

ERG(Employee Resource Group)では、勉強会やセミナー開催などを通じて従業員の LGBTQ+に対する理解を深める活動をボトムアップで行っています。5月17日の「国際反ホモフォビア・トランスフォビア・バイフォビアの日」^{※4}に合わせたイベントでは、経営陣ならびに従業員が社内 SNS 上でアライ宣言を投稿し、多様性や異なる価値観を尊重することの大切さを自ら発信しました。基調講演として、特定非営利活動法人東京レインボープライドの吉村美音氏を講師にお招きし、「同性婚」の問題をきっかけとして、さまざまな価値観への考えを深めました。アクサの全従業員を対象とした「インクルージョン・カンファレンス」では、ERG が主催する分科会の1つとして「当事者とアライのお悩み相談室 with ドラッグクイーン& アクサアライ」を開催しました。一人ひとりが異なるライフスタイルを持つことを前提に、マイノリティを理解できない場合でも、課題に向き合い、自分事として捉えることの重要性を二人のドラッグクイーンに語っていただきました。

■保険商品を通じた取組み

・アクサ生命

保険契約の指定代理請求人として同性パートナーを登録していただくことが可能です。公式ホームページに LGBTQ+当事者のお客さまへのQ&Aや、お客さまへのファイナンシャル・プラン・アドバイザーによるインタビューを掲載し、LGBTQ+当事者の生活の質の向上を支援する取組みを強化しています。詳細については、以下のページにある「LGBTQ+当事者のお客さまへ」をご参照ください。

<https://www.axa-holdings.co.jp/company/lgbtq/>

・アクサダイレクト

保険始期日2022年12月13日以降の「アクサダイレクト総合自動車保険」の契約を対象に、同性パートナーを「配偶者」としてお引き受けします。これにより、同性パートナーを補償の対象に含めることやノンフリート等級の引継ぎなどが可能となります。

・アクサダイレクト生命

現状は同性パートナーの保険金等の受取人指定は契約成立後にお客さまからのお申出により個別に対応させていただいていますが、年内に新契約お引き受け時より同性パートナーを保険金等の受取人に指定いただけるよう準備を進めています。さらに年内に指定代理請求人として同性パートナーを登録していただくことが可能になる予定です。



■2022アウトスタンディング LGBT+ロールモデルリストに安瀬がランクイン

アクサ・ホールディングス・ジャパン代表取締役社長兼CEOの安瀬は、LGBTQ+のアライとして、社外での啓発活動にも精力的に取り組んでいます。2022年11月9日(現地時間)、英国のインクルージョン&ダイバーシティ推進団体であるINvolve社が主催する「2022アウトスタンディング LGBT+ロールモデルリスト(2022OUTstanding LGBT+ Role Model Lists)」^{*5}において、世界8位にランクインしました。LGBTQ+を支援するアライエグゼクティブとして、3年連続での選出となります。

アクサは、「すべての人々のより良い未来のために。私たちはみなさんの大切なものを守ります。」というパーパスのもと、一人ひとりが活躍できる社内文化を醸成するとともに、属性にかかわらずあたりまえに自分らしく人生を享受できる社会を目指してまいります。

※1:任意団体「work with Pride」が、企業・団体などの枠組みを超えて、LGBTQ+の方々が働きやすい職場づくりを日本で実現することを目指し、2016年6月に策定した指標。

※2: Employee Resource Groupの略で、経営会議メンバーが原則としてスポンサーとなり、共通の問題意識を持った従業員が自主的に集い、課題解決に向けた活動を行うグループのこと。

※3: アクサ生命の一部職制(外勤)では非導入

※4: レズビアン、ゲイ、バイセクシャル、トランスジェンダー、インターセックスなど、多様な性的指向、性自認、性表現を持つすべての人々の権利の侵害に対する認識を広め、関心を高めることを目的に制定された日。1990年の5月17日、世界保健機関(WHO)が同性愛を精神疾患のリストから除いたことをきっかけに制定された。

※5: インクルージョン&ダイバーシティの分野で卓越した成果を挙げた世界のリーダーをInvolve社がロールモデルリストとして選出し、その功績を称える取組み。

アクサ・ホールディングス・ジャパンについて

アクサ・ホールディングス・ジャパンはアクサのメンバーカンパニーとして、2019年に設立された保険持株会社です。傘下にアクサ生命、アクサ損害保険(アクサダイレクト)、アクサダイレクト生命の3社を擁しています。

アクサグループについて

アクサは世界50の国と地域で14万9千人の従業員を擁し、9千500万人のお客さまにサービスを提供する、保険および資産運用分野の世界的なリーディングカンパニーです。国際会計基準に基づく2021年度通期の売上は999億ユーロ、アンダーライティング・アーニングスは68億ユーロ、2021年12月31日時点における運用資産総額は1兆510億ユーロにのぼります。アクサはユーロネクスト・パリのコンパートメントAに上場しており、アクサの米国預託株式はOTC QXプラットフォームで取引され、ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス(DJSI)やFTSE4GOODなどの国際的な主要SRIインデックスの構成銘柄として採用されています。また、国連環境計画・金融イニシアチブ(UNEP FI)による「持続可能な保険原則」および「責任投資原則」に署名しています。

*アクサグループの数値は2021年度時点のものです。

本件に関するお問い合わせは下記までお願いいたします:

アクサ・ホールディングス・ジャパン株式会社

広報部

電話: 03-6737-7140

FAX: 03-6737-5964

<https://www.axa-holdings.co.jp/>